

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	個別の生活歴や残有機能を活かしたレクリエーションを開催したい。	個別の生活歴や趣味を尊重し残有機能を活かしたレクリエーションに取り組める。(週1回以上)集団で安心して楽しんで頂けるレクリエーションを開催する。(毎日、8割以上の入居者が参加できる)	個別のサービス担当者会議において、一人ひとりの生活歴や趣味や意向を尊重したレクリエーション活動を検討する。集団でのレクリエーション活動については既存の活動に加えて安心して楽しんで頂けるメニューがないかグループホーム会議等で検討する。	6ヶ月
2	26	入居者様がより良く暮らすための現状に即した介護計画を立案したい。	1人ひとりの心身状態やこれまでの生活様式を尊重した介護計画を、ご本人やご家族及び多職種連携で作成することができる。また、PDCAサイクルを通し評価・修正を行うことができる。	ご本人を取り巻く方々を含め生活歴や趣味などの情報収集し、記録に残す。導入後はご本人やご家族の意向を確認しながら、要望や状態の変化に応じて多職種連携で検討会議を開催し、より一人ひとりの現状に即した介護計画を立案する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。